

合板の供給状況及び価格の状況について

平成23年4月28日
林野庁

1 合板の供給状況

- ・ 被害のあった岩手、宮城の合板工場の生産割合は全国の約3割と推計。合板関係団体との情報交換会を開催したところ、今後の合板需要に対して被害を受けていない国内工場の増産で対応可能であることを確認。
- ・ 震災直後は、在庫をあまり抱えないといった流通実態の中、輸送の混乱等から工務店等が入手しづらい状況となったが、4月に入り、震災の影響により一時操業停止していた工場が再開し、休日返上や稼働日数増での操業体制などにより、ほぼフル生産の増産体制になっている。
- ・ 現時点では一部十分に行き渡っていないところはあるものの、供給量が増加することでこの状況は改善に向かうことが見込まれる。

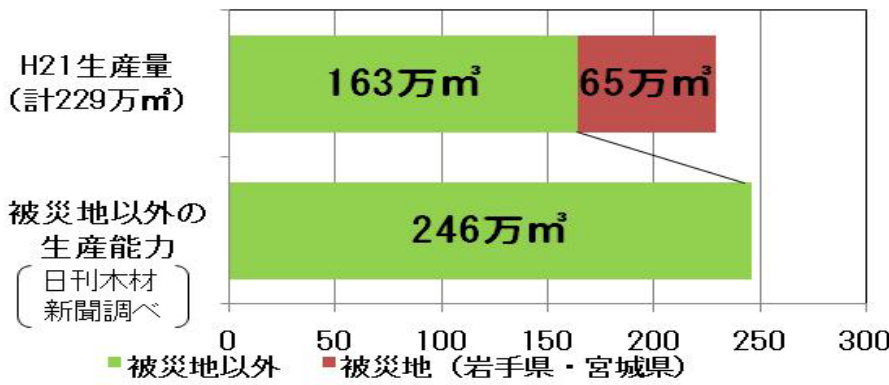
2 合板価格の状況

- ・ 合板の価格は、農林水産省の調査（月1回公表）によると、震災前、住宅着工が堅調に推移していたことから、上昇傾向にあった。
- ・ 震災後、他の建設資材等と同様に物流などの混乱から供給に対する不安もあり、品薄感が強まり、業界団体（日本合板商業組合調べ（東京））によると、現時点（4月第4週）では、震災前に比べて約1割程度高い状況である。
- ・ 林野庁では、合板価格の安定が図られるよう価格動向を注視していくため、4月18日の週以降、当分の間、合板価格を毎週調査・公表することとしており、必要に応じて業界を指導。

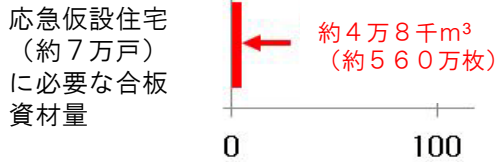
合板用国産材の安定供給について

- ・ 被害のあった岩手、宮城の合板工場の生産割合は全国の約3割と推計。
- ・ 今後の合板需要に対して、被害を受けていない国内工場の増産で対応可能であること等を確認。
- ・ 断熱材、ユニットバス、サッシ等の建設資材と同様に合板についても、在庫をあまり抱えないといった建設業界の状況の中、供給面での混乱が見られるところであるが、合板業界を挙げてフル生産を行うこととしている。

平成21年普通合板生産量及び生産能力

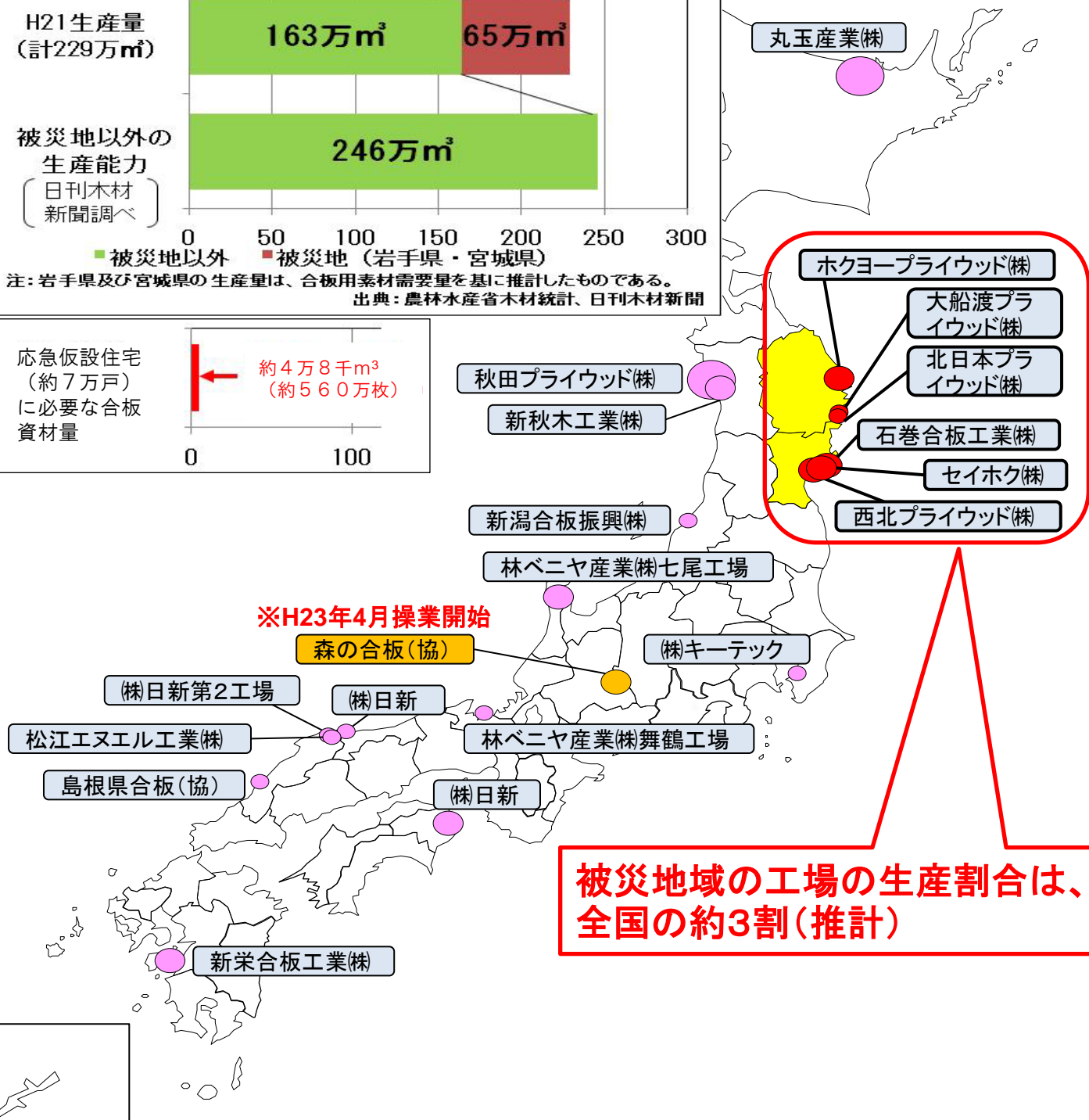


注: 岩手県及び宮城県の生産量は、合板用素材需要量を基に推計したものである。
出典: 農林水産省木材統計、日刊木材新聞



※H23年4月操業開始

森の合板(協)



平成 23 年 4 月 22 日
林野庁木材産業課

平成 23 年 3 月及び 4 月の普通合板の生産量・出荷量について
(速報値)

日本合板工業組合連合会の協力により、東日本大震災により被災した合板工場を除いた、平成 23 年 3 月及び 4 月（1 日～15 日分）の国内の普通合板生産量を調査したところ、結果は下記のとおり。

記

(単位：m³)

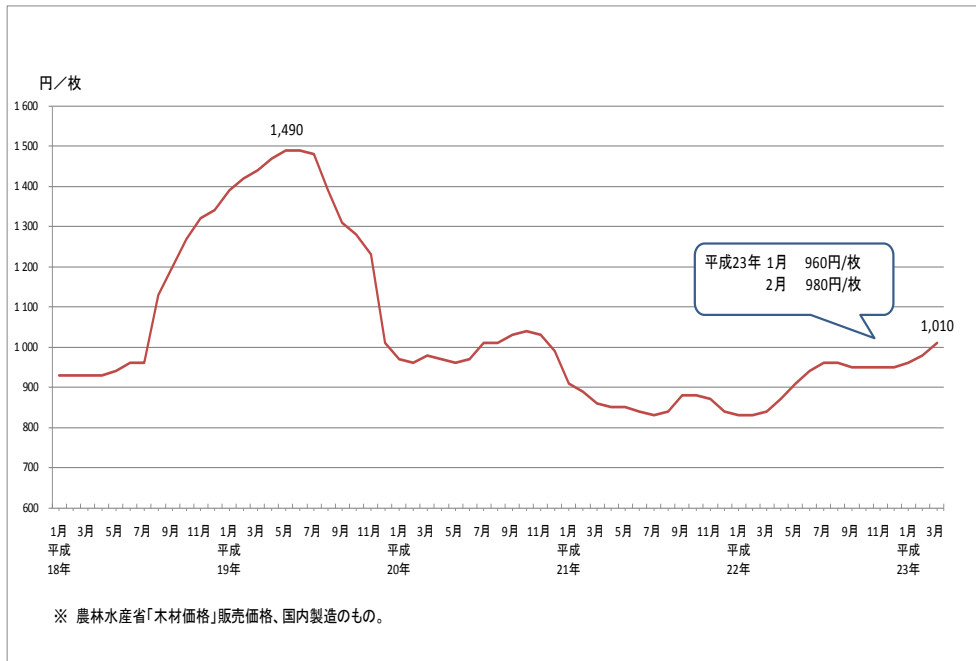
	生産量	出荷量	差	備考
23 年 3 月	167,565	161,445	6,120	震災後の物流混乱などにより出荷量が落ち込み
4 月	102,507 (205,014)	128,894 (257,788)	△26,387 (△52,774)	4/1～4/15 の生産・出荷量 () は 2 倍の数量
平成 21 年 月平均	191,340	200,660	△9,320	農林水産省「合板統計」
平成 22 年 月平均	222,633	225,729	△3,096	〃

以上

(担当：木材専門官)

合板価格の推移について

○ 針葉樹合板の価格推移(12×910×1,820ミリ、1類)



○ 最近の価格推移(針葉樹合板、12ミリ)

(単位: 円/枚)

調査日	価格	備考
平成23年2月1日	930	
8日	950	
15日	950	
22日	950	
3月1日	950	
8日	950	
15日	—	データなし
22日	—	データなし
29日	—	データなし
4月5日	1,050	
12日	1,050	
19日	1,050	

※ 日本合板商業組合調べ(東京)

東日本大震災について ～合板価格調査の実施～

1. 趣旨

東日本大震災は、木材産業にも大きな影響を及ぼしており、特に合板製造業については全国生産量で約3割（推計）に相当する工場が被害を受けたところ
です。現在、被害を受けていない国内工場においてフル生産が行われており、
震災前の合板需要や震災後の仮設住宅等の需要に対応可能と考えられます。

合板は復旧・復興のためだけでなく、今後、建築物の木造化、木質化等を
促進するために欠かせない資材であること等を考慮すると、合板の価格や供給
の安定を図っていく必要があります。

このため、当面の間、全国の合板価格について調査し、その結果を公表しま
す。

2. 調査概要

(1) 調査対象

全国の合板卸売業者（約20社）

(2) 調査対象品目

- ・ 構造用合板（国産品、厚さ12ミリ）
- ・ 構造用合板（国産品、厚さ24ミリ）
- ・ 構造用合板（輸入品、厚さ12ミリ）
- ・ 型枠用合板（輸入品、厚さ12ミリ）
- ・ 薄物（輸入品、厚さ4ミリ）

(3) 調査期間及び結果の公表

4月18日の週から当分の間、原則として毎週月曜日における問屋卸売
価格を調査し、水曜日にその結果を公表します。

なお、調査期間は、価格が落ち着くまでとします。

(4) その他

品目別に全国平均の価格を林野庁HPに掲載します。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/jisin/index.html>

合板価格調査結果(全国平均、平成23年4月25日現在)

No	調査日	A	B	C	D	E
		構造用 国産針葉樹 厚さ12ミリ ※	構造用 国産針葉樹 厚さ24ミリ	構造用 輸入品 厚さ12ミリ	型枠用 輸入品 厚さ12ミリ	薄物 輸入品 厚さ4ミリ
1	平成23年4月18日	1,050	2,160	1,360	1,300	600
2	平成23年4月25日	1,050	2,140	1,380	1,320	600

注)

- 1 数値は問屋卸売価格で消費税込み(円/枚)。
- 2 規格は以下のとおり。
 - A; 12×910×1820mm、国産、針葉樹、JAS製品、F☆☆☆☆
 - B; 24×910×1820mm、国産、針葉樹、JAS製品、F☆☆☆☆
 - C; 12×910×1820mm、東南アジア産、JAS製品、F☆☆☆☆
 - D; 12×900×1800mm、東南アジア産、JAS製品
 - E; 4×910×1820mm、東南アジア産、JAS製品、F☆☆☆☆

参考)

※ 最近5カ年の合板価格(構造用、国産針葉樹、厚さ12ミリ)の状況

調査日	A	備考
平成23年4月18日	1,050	
平成23年4月25日	1,050	
平成19年5、6月	1,490	最高値
平成21年7月 平成22年1、2月	830	最低値
平成19年	1,360	最高値(年平均)
平成21年	860	最低値(年平均)

資料:農林水産省「木材価格統計調査」

仮設住宅資材の安定供給に係る林野庁の取り組み

日時	タイトル	内容	主体	対象・発出先など
H23.3.15	「『東北地方太平洋沖地震』災害復旧木材確保対策連絡会議」の開催	被災状況の把握と災害復旧木材の安定供給及び価格安定などを協議	木材産業課	関係団体
H23.3.17	「東北地方太平洋沖地震に伴う住宅関連資材対策会議」の設置	住宅局を事務局に設置	・林野庁 ・経産省(製造産業局) ・国交省(住宅局) ・環境省(廃棄物・リサイクル対策部)	
H23.3.18	「東北地方太平洋沖地震に伴う住宅関連資材の不足への対応について(通知)」の発出	資材の安定供給への協力依頼	・林野庁 ・経産省(製造産業局) ・国交省(住宅局) ・環境省(廃棄物・リサイクル対策部)	関係団体
H23.3.22	「東北地方太平洋沖地震復旧復興に向けた合板需給情報交換会」の開催	合板の需給についての情報交換	木材利用課	関係団体
H23.3.24	「住宅建設資材に係る需給状況の緊急調査について」の発出	需給状況への影響、回復の見込み、在庫の状況などの住宅資材の需給状況の現状把握(～31日まで)	・林野庁 ・経産省(製造産業局) ・国交省(住宅局) ・環境省(廃棄物・リサイクル対策部)	関係団体
H23.3.28	「平成23年(2011)東北地方太平洋沖地震の被害と対応～国産材(合板用材等)の安定供給の推進について～」要請	原木の安定供給への協力依頼	林野庁(経営課、木材産業課)	全森連 素生協
H23.3.28	「被災者向けの住宅供給の促進等に関する検討会議第1回」への参加	検討会議の設置、仮設住宅等の確保を大量かつ迅速に進めるための方策について協議	国土交通副大臣(座長)	総務省、厚労省、農振局、林野庁、経産省、環境省、防衛省、国交省
H23.3.29	「林政審議会」の開催	長官より合板の安定供給要請	林野庁	関係団体
H23.4.4	「東北地方太平洋沖地震災害復旧木材確保対策連絡会議」の開催	災害及び仮設住宅建設に係る取り組みの状況、建設用資材の需要安定等について協議	木材産業課	関係団体
H23.4.5	「被災者向けの住宅供給の促進等に関する検討会議第2回」への参加	応急仮設住宅の次の目標設定、資材の緊急調査の結果報告及び今後の対応について	国土交通副大臣(座長)	総務省、厚労省、農振局、林野庁、経産省、環境省、防衛省、国交省、消費者庁
H23.4.18	「東日本大震災について～合板価格調査の実施～」のプレス	合板価格調査の実施と結果公表の知らせ	木材利用課	一般
H23.4.18	「東北地方太平洋沖地震に伴う住宅関連資材対策会議(第2回)」の開催	住宅関連資材の円滑な供給に関する今後の取り組みについて打ち合わせ	・林野庁 ・経産省(製造産業局) ・国交省(住宅局) ・環境省(廃棄物・リサイクル対策部)	
H23.4.20	「東北地方太平洋沖地震復旧復興に向けた合板需給情報交換会(第2回)」の開催	合板の需給についての情報交換	木材利用課	関係団体
H23.4.20	「被災者向けの住宅供給の促進等に関する検討会議第3回」への参加	応急仮設住宅の建設の進捗状況、資材の生産・流通の動向把握、地元県内業者の活用状況、輸入住宅の取り扱い、原発避難区域の見直しの対処方針等について	国土交通副大臣(座長)	総務省、厚労省、農振局、林野庁、経産省、環境省、防衛省、国交省、消費者庁